



資料館 だより

No.8
2006年
9月号

あおぞら財団附属のエコミューズは大気汚染公害問題資料、西淀川地域資料などを所蔵しています。ぜひ、ご利用ください。

場 所: あおぞらビル5F
利用時間: 月曜日と金曜日 10:00-17:00
(12:00-13:00 休み、祝日休み)

環境経済学世界大会 7月4日～7日[京都] ブース出展で世界にアピール

エコミューズ、世界にお披露目です!

理事の植田和弘先生のすすめから、世界大会の展示ブースに出展しました。7割が海外からのお客様ということもあり、展示は全て英語です。どうしよう?と悩みま



小池環境大臣に説明するエコミューズのスタッフ

の取り組みとエコミューズの宣伝をしてきました。大気汚染がひどかった頃の写真の反響が大きく、大気汚染の情報があまり一般的でないことを実感しました。もっとわかりやすく伝えていく努力が必要ですね。

したが、ホームページの英文を駆使して、乗り切りました。

期間中は、「hello!」と勧誘し、使えない英語をしゃべり、地域再生

リバティおおさか リニューアル・オープン 西淀患者会主催の見学会に参加

昨年12月にリニューアル・オープンした大阪人権博物館(リバティおおさか)に、7月12日、西淀川公害患者と家族の会のメンバー30人と一緒に見学に行きました。もちろん、新たに設置された西淀川公害のコーナーを見るためです(『資料館だより』No.4「館訪問記」参照)。同館の展示でユニークなのは、展示のキャプション(解説)を被害を受けた当事者が書いていることです。自らが、あるいは仲間のメンバーが、展示やビデオに登場しているのを見て、みな、これまでの長い活動のこと、その中にあった苦労や喜びに思いをはせている様子でした。

住民運動の記録資料を守ろう 「大阪から公害をなくす会」の所蔵資料 調査を実施

大阪の反公害住民運動を牽引してきた「大阪から公害をなくす会」(1971年設立)が所有している資料の現状を調べに8月18日、同会の事務所(大阪市此花区)を訪れました。

同会は「大阪公害患者の会連合会」(1977年設立)と軒を同じくしており、資料の中には、大阪連合会の資料もたくさん含まれています。さまざまな会議録や



倉庫の中は資料の山

ニュースレターの山の中、西淀川公害を紹介する大きな展示用パネルを見つけました。掘り起こせば、まだまだ貴重な資料が出てきそうです。大阪の住民運動を伝えるこれらの資料ですが、保管スペースが十分ではないなどの問題があります。エコミューズでも何とか手立てを打っていきたいと考えています。

韓国の司法修習生グループ18人 日本の公害・環境訴訟の研修で 来館

資料館が韓国からのお客様でいっぱいになりました。7月3日～12日までの10日



資料に見入る修習生たち

間、韓国の司法修習生のグループ18人が日本の公害・環境訴訟の研修を受けに来ました。この研修の受け入れは2000年からおこなっています。膨大な量の西淀川公害訴訟の全記録を見て、みな、驚いた様子でした。お土産に持って帰ったエコミューズのポスターが、今ごろは韓国で貼り出されているかもしれません。

40年前の西淀川 煙で前が見えない？ 気象台が独自に撮影

昭和30年代の大気汚染は、工場の排煙と自動車の排気ガスによるもので、いつも霧につつまれているような状態でした。空は灰色、ヘッドライトは昼もつけなければならぬ、スズメが落ちてくるといったひどい状態でした。当時の大気汚染に疑問をもった大阪管区気象台の職員が、ポケットマネーを使って全国の航空写真を撮影していました。このことが当時の新聞に載っていたこと

合同製鐵の上空から撮影



から、写真の存在が判明し、西淀川公害訴訟弁護団がロッカーの上に置かれていた写真を探し出しました。大気汚

染の写真 692 枚は西淀川に尼崎や此花の工場から煙が流れてきたことの重要な証拠になりました。

上空は青空でも大阪市の上に灰色の空が覆っていることが一目瞭然。エコムーブズでの一番反響の大きい、公害を伝える重要な資料です。(林)

やかた
館
訪問記

その8 .
イタイタイ病の歴史を伝える
清流会館
富山県富山市婦中町萩島 684
<http://www.micnet.ne.jp/idsa/index.htm>

公害地域再生の活動が一番進んでいるのはどこですか？という質問に答えるならば、「富山県のイタイタイ病」といえる



でしょう。裁判が和解してから34年間、住民の中心となっているのが、「清流会館」です。カドミウムの汚染田の土壌入れ替えや、年に一度の神岡鉱山立入調査など精力的に取り組んでいます。その中に、立派な展示室があり、イタイタイ病の被害や世界の土壌汚染などが勉強できます。

土壌入れ替えをした田んぼの土が赤いなど、現地に行くとわかることがあります。現地で伝える大切さを実感しました。(林/2006年8月5日訪問)

お知らせ

[あおぞら財団企画制作]西淀川図書館展示
見つけたよ西淀川の自然

【同時開催】はがきをつくろう

～にしよど葉っぱアートコンテスト～

会期：2006年9月1日(金)～10月31日(火)

会場：西淀川図書館(JR「御幣島」駅下車すぐ)

休館日＝月曜日、毎月末日、祝日

西淀川図書館でのあおぞら財団イベント

10月22日(日)15:00～16:00

環境教育ビデオ「手渡したいのは青い空～未来からのメッセージ」上映会

10月28日(土)14:00～16:00

牛乳パックでアートなハガキをつくろう

お問い合わせは、西淀川図書館へ TEL 06-6474-7900

あおぞらビル1F展示

はがきをつくろう～にしよど葉っぱアートコンテスト～
子どもたちが応募した楽しいアート作品がいっぱい。

会場：あおぞらビル1F

会期：2006年9月1日(金)～10月31日(火)

休館日＝土曜日、日曜日、祝日

編集後記

夏は大学生のインターンたちで、事務所は賑やかになります。9月1日から始まった西淀川図書館およびあおぞらビル1Fでの展示準備にはインターンにずいぶん頑張ってもらいました。インターンたちの奮闘振りは、あおぞら財団のブログで見ることができますので、ぜひ、どうぞ。<http://aozorabs.w.exblog.jp/>

「資料館だより」No.8 2006年9月号
(隔月1日、年6回発行)

発行所 あおぞら財団 西淀川・公害と環境資料館
編集スタッフ 鎗山善理子、林美帆

連絡先 (財)公害地域再生センター(あおぞら財団)
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1 あおぞらビル4F
TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885
Email: webmaster@aozora.or.jp
<http://www.aozora.or.jp/shiryou>